

ポストコロナの 大学間国際学生交流の ポリシーメイキングは どのように行われるか： イタリアなどを中心に

お茶の水女子大学 櫻井勇介
2021年8月22日

スライドへのアクセスはこちら bit.ly/3fSwM40

国際共同研究加速基金「大学間教育交流のニューノーマル；各種プログラムの再定義」（20KK0052 研究代表者：近藤佐知彦）

分担部分の協力機関

- **国際共同研究加速基金「大学間教育交流のニューノーマル；各種プログラムの再定義」**（20KK0052 研究代表者：近藤佐知彦）の一部
- 2021年3-5月実施
- 一部・多様な国々の結果の報告
- Italy (9), Brazil, Brunei, Canada, Denmark, Finland, France, India, Ireland, Netherlands, Peru, Sweden, Taiwan, United Kingdom, Vietnam / 計23校

留学再開へ参考にする情報源

(「政府の方針以外に」3つまで選択)

どういった情報に頼れば良いか、決めかねている

海外の大学連合、ネットワークなどからの情報

国内の大学連合、ネットワークなどからの情報

有名もしくは影響力のあるほかの高等教育機関の動向

リスク管理、留学エージェント、もしくはコンサルタントなど学外専門家の意見やアドバイス

感染症対策について知見のある学内教職員などの意見・アドバイス

保護者の意見

学生の意見

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18

再開後の派遣学生選抜方法

		渡航を断念した学生と新規応募者を同等に扱う				
		強く賛成	賛成	どちらとも 言い難い	反対	強く反対
渡航を断念した学生を優先させる	強く賛成	2 👍👍			既得権重視 1 👍	
	賛成	2 👍👍	1 👍	1 👍	1 👍	
	どちらとも 言い難い	平等性重視 3 👍👍👍		3 👍👍👍	1 👍	
	反対	2 👍👍	4 👍👍👍👍	2 👍👍		
	強く反対					

ポストコロナの学生交流の共通認識は

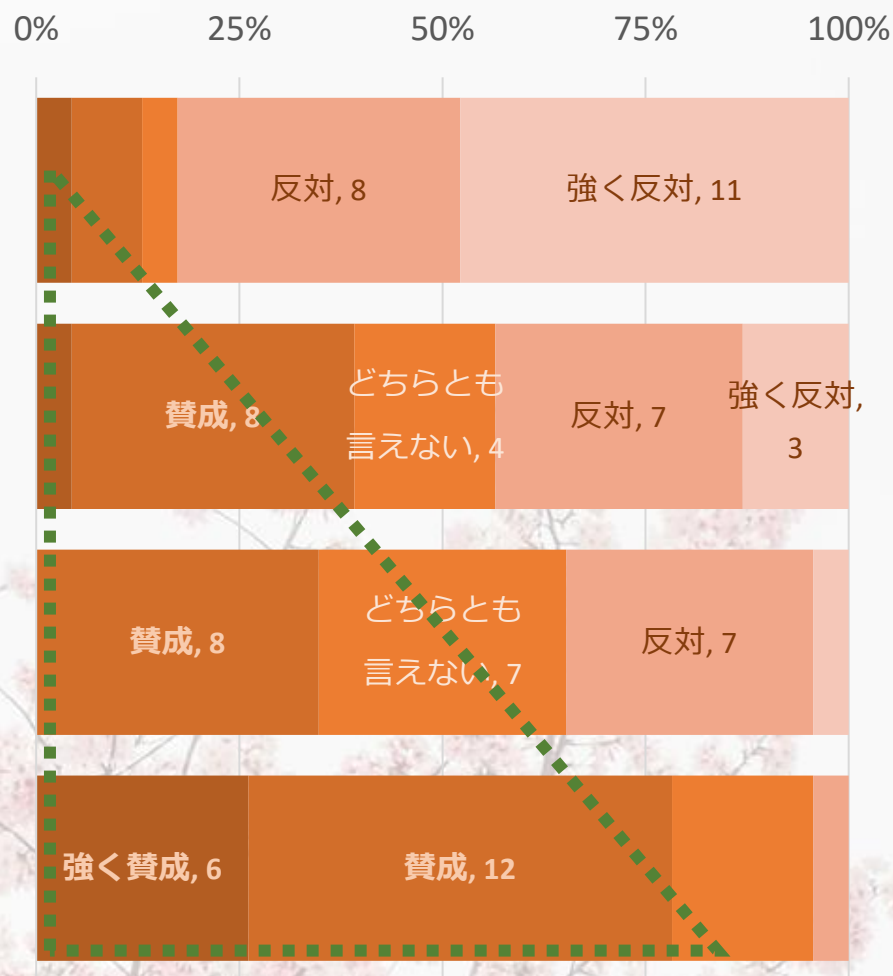
不要または限定的
 当面学生交流を行う予定はなく、大学間国際交流の枠組みは不要

教育の国際化のために一部の近い機関との共通認識があればよい

自国や周辺地域の機関との共通認識が必要であり、その後国際的に議論を行う

学生交流を再開するにあたり、世界各国の多くの大学との共通認識が必要である

広く必要



ポストコロナ学生交流を先導する るのは

(3つまで選択)

国際機関

政府関連機関

国際教育に関わる国際的機関

影響力のある
機関

コンサル業務専門家

大学連合の組織

研究者

0 5 10 15 20 25

スライドへのアクセスはこちら bit.ly/3fSwM40

国際共同研究加速基金「大学間教育交流の
ニューノーマル；各種プログラムの再定
義」（20KK0052 研究代表者：近藤佐知彦）

主なポイント

- 国の方針以外に、学生交流の再開のために**感染症対策の学内専門家**や**国内の他大学の情報**を参考にする傾向
 - 学生、保護者、学外専門家組織に頼るという回答は少ない
- 留学を断念した学生と翌年の候補生から**同様に選抜する方針が優勢**
- 学生交流の再開は**政府**や**世界的な国際教育組織のイニシアチブ**が期待されている